



淺間、嶽
廿五

14
3157
51(24x)





風俗漫間嶽三編

柳水亭種清作

上

14
3157
51
(24)



表用口訣十三

柳水亭種清認

後述て認神垂三代
 録小集のり此言ふあゆ
 何り。百羽考にも唯雄の寒鴉あの色の
 子り傳言しき。仇とらむむ舒童が
 狗をこねしり。吾山中ありて寒夜
 あくろりの啼きさきあ。ノリツケホセと
 さる声の。十人語小似りとある。亦私考
 出る小集乃次安鴨鵲の鳥小侶るの筆止とら
 を右左考合して。石平の魂を集と化はしめ
 のを言ちて無理古實家と誦られん

五九

風おろく

歩留ヶ嶽

十二海

上冊

一 柳の鳥画

甘の茶板



五九



義嬢寄虫



夢の杜鶉花

五河の五郎藏



晴
 結
 結
 結



山
 山
 山
 山





あんなに
きんすけ
とこれい
あんなに
あんなに

このあんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

白狐の奇
瑞五百兩の
黄金を
毒郎の地
蔵の牽

内へひ
説出せ
の凶み



あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

此の三の巻の
 ちとせ
 〇 ちとせ
 ちとせの川
 さのんのす
 ナ
 ちとせの川
 さのんのす
 ナ



ちとせの川
 さのんのす
 ナ
 ちとせの川
 さのんのす
 ナ

〇 ちとせ
 ちとせの川
 さのんのす
 ナ



〇 ちとせ
 ちとせの川
 さのんのす
 ナ

種清作 國貞画



二個の女成佛
得脱のさる本文
不記と云ふ人
○二個の女成佛
得脱のさる本文
不記と云ふ人
○二個の女成佛
得脱のさる本文
不記と云ふ人

黄金水大盡

出永野水作

清曾道中膝栗毛

十返舎九郎

休草紙

ろは文庫

甘泉堂



